

広告

宇部興産中央病院医療最前線

— シリーズ患者さんに寄り添う専門医療 ⑪ —



データヘルスと

糖尿病重症化予防



糖尿病血液内科
診療科長
井本 忍

専門分野

- 内分泌代謝性疾患
- 血液疾患

認定医・専門医・指導医

- 総合内科専門医
- 日本糖尿病学会専門医
- 日本血液学会専門医
- 日本プライマリケア連合学会指導医

11月14日は世界糖尿病デーです。インスリンを発見したカナダ・トロント大学のバンティング先生への敬意を払い、彼の誕生日を記念日としています。日本でも全国糖尿病週間として、各施設・病院で記念イベント・講演会やブルーサークルのライトアップが行われます。今年のテーマは「糖尿病重症化予防」で、「糖尿病 手遅れ防ぐ 早めの受診」が標語になっています。

2016年に行われた国民健康・栄養調査では、糖尿病が疑われる人がとうとう1千万人になりました。高齢の方を中心に今も患者さんは増えています。今年のテーマとなっております。糖尿病重症化予防が示すように、糖尿病を放置しておくとうに、糖尿病を放置しておくとうに、糖尿病を放置しておくとうに、合併症が進行してきます。網膜症による視力低下や神経障害による足のしびれや冷感・痛み、蛋白尿やむくみを来たす腎症が代表的です。腎症からの腎不全が進行し尿が出なくなるなど血液透析が必要になり日常生活にも支障を来します。合併症が起きないように予防する事が大切です。

この糖尿病重症化予防ですが、医療機関での診療以外にも各市町村でもデータヘルスを活用した取り組みが始まっています。

ます。データヘルスとは、蓄積したデータの解析に基づいた介入を行い、市民全体の健康レベルを向上させるという活動です。昨今のICT技術の進歩はめざましく、宇部市でも特定健診結果と患者レセプト（診療報酬明細書）情報をデータとして収集解析し、介入の必要な患者さんを選んで効果的な保険事業を行っています。糖尿病に関しては、特定健診で高血糖を認められた方に対して、医療機関への受診勧奨や生活習慣改善の保健指導への参加を呼びかけています。また、蛋白尿や腎障害が疑われる場合には、糖尿病性腎症重症化予防のための食事生活指導を勧められています。食事療法と運動療法は糖尿病治療の基本ですが、それぞれ患者さんの病態や生活スタイルによってその内容は変わってきます。医療機関では詳細な生活スタイルを把握できない場合もあります。そのため、医療機関での治療と併用した糖尿病重症化予防の新しい取り組みが期待されています。糖尿病重症化予防の生活指導に興味のある方は宇部市保健センターにご相談ください。



「世界糖尿病デー」を呼び掛ける2017年のポスター

宇部興産中央病院は地域医療支援病院です



〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波750番地
地域連携室 ☎0836-51-9421